物流ニッポン
LOGISTICS NIPPON
発行/月曜日・木曜日　第3589号
購読料/半か年32,130円(月額5,355円、税込)
©物流ニッポン新聞社 2013(1969年4月1日第3種郵便物認可)
2013年(平成25年)
4|8
(月曜日)

資格認知拡大と適正化

トラ事業者と連携図る

遺品整理士認定協会理事長
木村　栄治さん

「心のこもった対応と丁寧な遺品の扱い、確かな運搬技術を我々も利用者も求めている。今後、一層『遺品整理士』資格の認知拡大に努めるとともに、トラック運送事業者と協力して業界の適正化を図っていきたい」と語るのは、遺品整理士認定協会（須田威会長）の木村栄治理事長（49）。

同協会は、法令を順守し適切な遺品整理が行える専門家の養成と業界の健全育成、更に若者への就労支援を目的に2011年9月に設立された。全国各地で遺品整理士養成講座を開講するとともに、認定試験を実施。更に、遺品整理業者を探している利用者に対し、資格を持つ人材や企業を紹介している。

「高齢化社会の進行に伴い、遺族だけでは遺品整理ができないケースが増えている。遺品整理業への需要が高まる一方、不透明な高額料金設定や不法投棄、心無い対応をする業者が少なからずいるのも事実。遺品整理から遺族の心のケアにつながるサービスを提供する業界にしなければならない」

設立から2年、現在「遺品整理士」認定者は全国で2000人以上になり、受講者も6000人を超えた。トラック運送業界でも300社が取得するなど着実に認知度を上げている。

特に、引越事業者の細やかなサービスは遺品整理業に通じる部分が多く、心を重視した対応とプロの技術による遺品整理が広がれば、多くの利用者が安心してサービスを受けられる」と力を込める。

（北原　進之輔）